



国立病院機構（NHO）
静岡てんかん・神経医療センター
臼井 直敬



National
Hospital
Organization



国師岳

赤城山

富士山

宇都宮

丹沢山

さいたま

つくば

毛無山

富士箱根伊豆
国立公園

栃木県

小山

小山町

昭和町

南部町

富士宮市

富士市

龍爪山 穂積神社

清水区

薩埵峠
さった峠

不動の滝

清水ナショナル
トレーニングセンターJ...

清水船越
堤公園

三保松原

梶原山公園

常葉大

静岡県立美術館

日本平 夢テラス

静岡県立こども病院

流通センター

瀬名

鳥坂

日本平動物園

久能山東照宮

静岡県立総合病院

静岡縣護國神社

日本平

駿河國惣社
静岡浅間神社

駿府城

曲金

ふじのくに地球
環境史ミュージアム

静岡駅

静岡県立静岡西高

大浜公園

円山花木園

安倍川

駿河区

徳願寺

ラウンドワン
静岡・駿河店

東新田

google ea

静岡てんかん・神経医療センターの紹介

- 1975年設立、包括的てんかん医療を目標、てんかん病床146
- 医師25-30人(小児科、神経内科、脳外科、精神科:てんかん専門医20名)、看護師約100人(てんかん専門看護師制あり)、その他の専門職
- すべての年齢層(新生児以外)、これまでの受診は40000人以上
- Video digital EEG 25台:脳波 14,792件/年、長時間脳波 8,470件/年
- CT, MRI, SPECT, PET(院外)
- 診断、薬物治療、食事治療、リハビリ、相談
- てんかん外科:1983年～、約2000人
- 包括医療を目指しています



令和7年度実績報告

(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

初診患者数

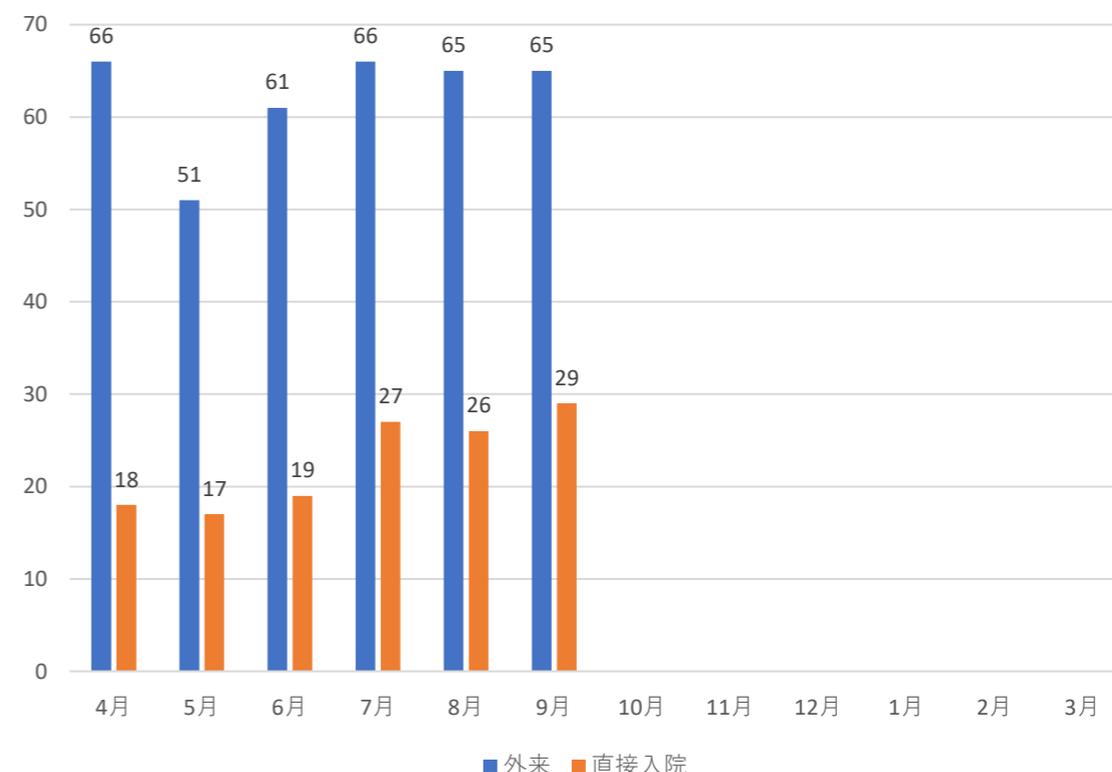
	外来	直接入院
4月	66	18
5月	51	17
6月	61	19
7月	66	27
8月	65	26
9月	65	29
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		
計	374	136

国立病院機構
静岡てんかん
・神経医療
センター

令和7年度
てんかん科
診療実績

月平均	外来	直接入院
令和1年度	83.3	20.0
令和2年度	61.8	18.7
令和3年度	62.0	17.8
令和4年度	67.3	20.5
令和5年度	63.3	22.3
令和6年度	58.8	23.8
令和7年度	62.3	22.7

初診患者数 n=510

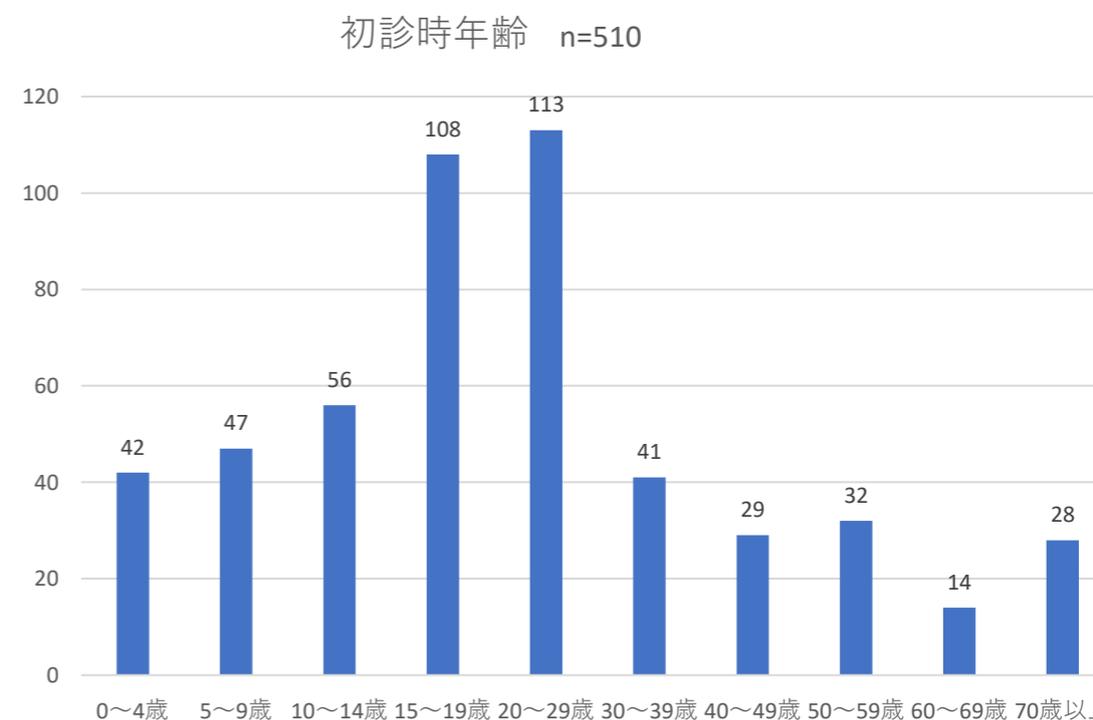


初診患者数は月平均65人ほどで一定している。
ここ数年で目立った変動はない。

受診者の年齢

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	人数	割合
0～4歳	10.6%	15.1%	10.6%	11.5%	9.3%	7.6%	42	8.2%
5～9歳	9.7%	11.2%	11.5%	11.4%	8.4%	8.8%	47	9.2%
10～14歳	11.2%	9.1%	11.2%	14.2%	11.3%	10.4%	56	11.0%
15～19歳	16.8%	15.3%	16.8%	16.1%	16.6%	19.1%	108	21.2%
20～29歳	19.5%	19.2%	18.6%	19.8%	22.2%	22.3%	113	22.2%
30～39歳	10.9%	10.5%	9.6%	7.0%	9.3%	10.0%	41	8.0%
40～49歳	8.0%	7.9%	8.0%	7.4%	7.2%	6.7%	29	5.7%
50～59歳	6.0%	4.8%	6.3%	4.6%	6.1%	6.6%	32	6.3%
60～69歳	3.2%	3.8%	4.4%	3.3%	4.8%	3.7%	14	2.7%
70歳以上	4.2%	3.1%	3.0%	4.7%	4.8%	4.9%	28	5.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	510	100.0%

小児から若年成人の割合が高い。進学、就職にてんかんが与える影響は大きいと推測される。高齢で受診される方もあり、高齢でてんかんを発症する方が少ないことを示唆している。

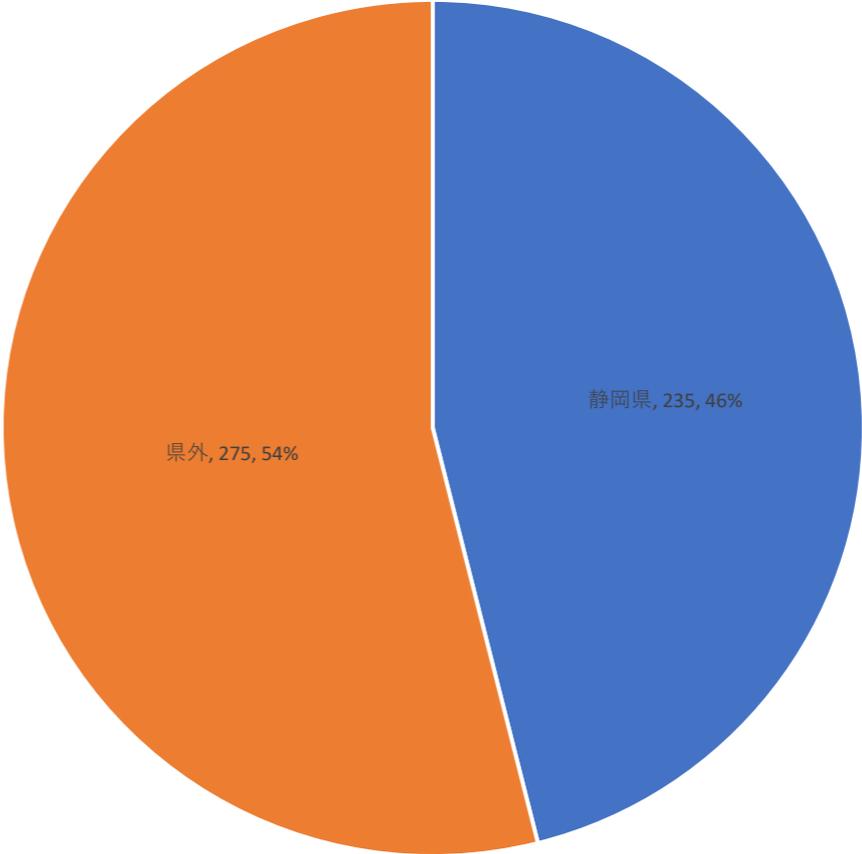


居住地

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	人数	割合
静岡県	44.0%	44.8%	47.4%	44.9%	43.6%	44.2%	235	46.1%
県外	56.0%	55.2%	52.6%	55.1%	56.4%	55.8%	275	53.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	510	100.0%

県内約4.5割、県外約5.5割の割合に大きな変化はない。

居住地 n=510



当院初診患者に占めるてんかん以外の診断の割合

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	人数	割合
急性症候性発作	0.7%	0.8%	0.1%	0.1%	0.4%	0.4%	0	0.0%
失神	7.5%	4.7%	2.7%	2.4%	3.2%	3.6%	13	2.5%
心因性非てんかん発作	4.4%	2.2%	0.8%	0.6%	0.9%	2.1%	10	2.0%
非てんかん	14.7%	22.7%	26.0%	20.4%	23.7%	24.0%	168	32.9%
その他	1.6%	0.2%	0.6%	1.0%	0.5%	0.2%	15	2.9%
計	29.0%	30.6%	30.2%	30.3%	28.6%	30.4%	206	40.4%

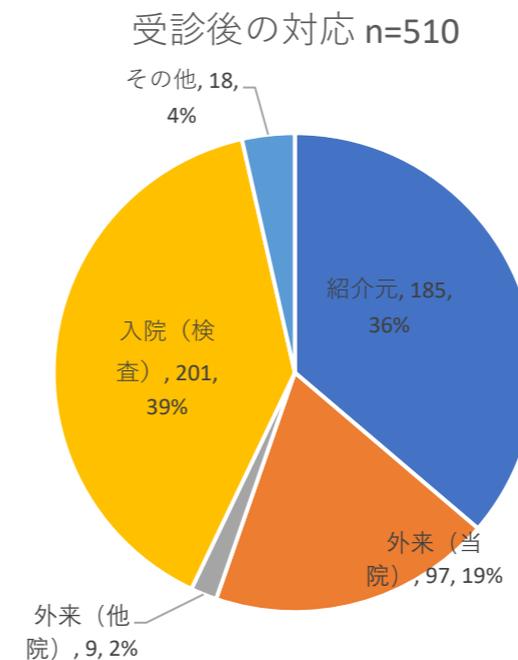
てんかん以外の診断割合が3割を超えている。

正確な診断ができる専門医療機関としての役割は重要と考えている。

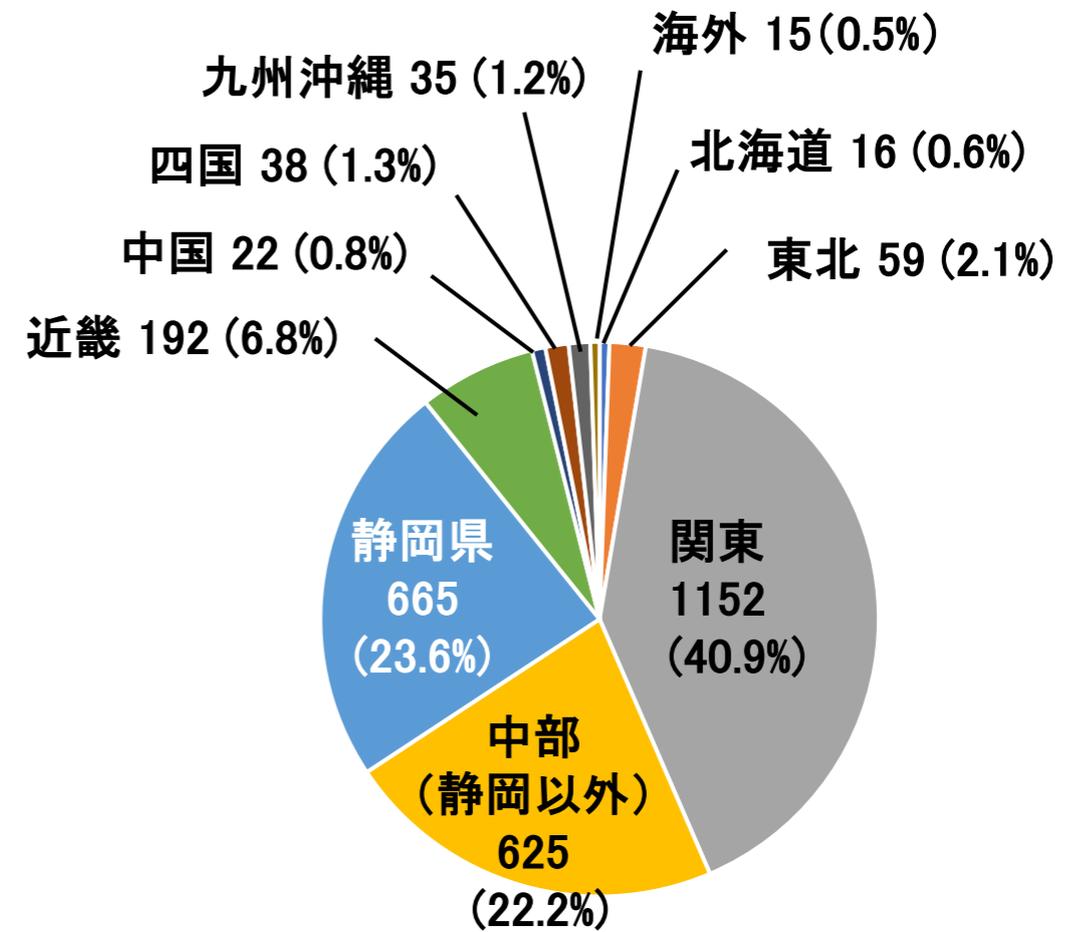
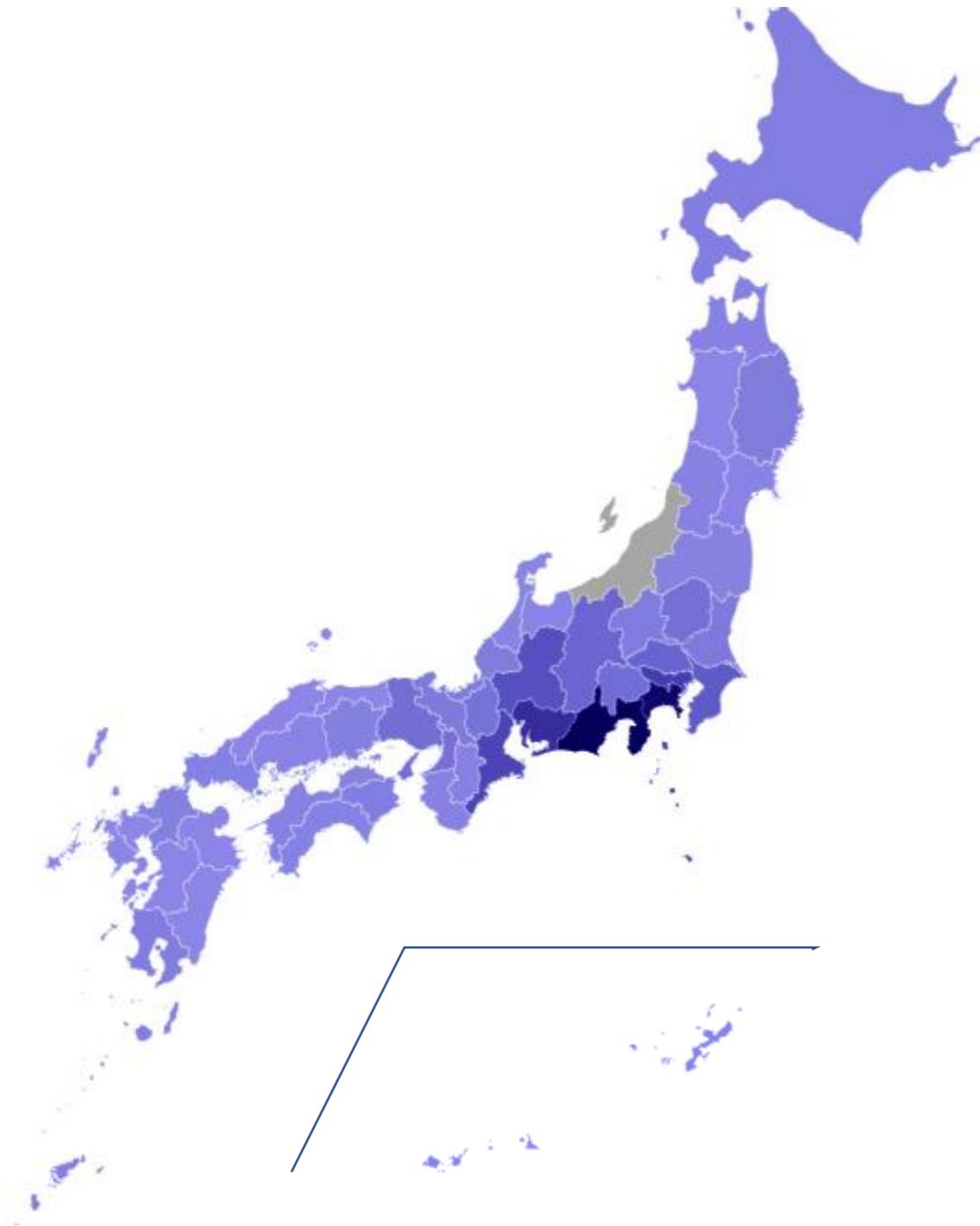
初診後の患者への対応

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	人数	割合
紹介元	40.1%	42.1%	38.2%	36.2%	37.5%	34.7%	185	36.3%
外来(当院)	20.0%	16.2%	11.6%	18.1%	14.2%	17.2%	97	19.0%
外来(他院)	3.9%	4.4%	4.3%	2.3%	1.9%	2.2%	9	1.8%
入院(検査)	24.6%	27.7%	36.2%	41.7%	44.0%	44.0%	201	39.4%
その他	11.4%	9.7%	9.7%	1.7%	2.3%	1.9%	18	3.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	510	100.0%

全体の約37%の患者が紹介元に帰り、
約39%の患者が検査を中心とした入院となった。



てんかんの入院



令和6年度 年間入院者数 合計 2,819

てんかんの外科治療件数

てんかん：全国の医療機関入院診療データ（厚労省HPより）

令和5年度

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00137.html

(10) 疾患別手術有無別処置2有無別集計_MDC01 [4.8MB]

てんかん 手術順位	施設名	手術あり	手術なし
1	国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター	62	2,407
2	順天堂大学順天堂医院	60	181
3	国立 精神・神経医療研究センター病院	58	564
4	東京都立神経病院	43	399
4	大阪大学医学部附属病院	43	173
6	広島大学病院	42	159
7	大阪市立総合医療センター	30	539
7	岡山大学病院	30	168
7	大阪公立大学医学部附属病院	30	132
10	東北大学病院	28	216
11	聖隷浜松病院	27	106
11	聖隷三方原病院	27	97
13	東京女子医科大学附属足立医療センター	25	138
13	名古屋大学医学部附属病院	25	130
13	九州大学病院	25	116
16	国立病院機構 長崎医療センター	24	365
16	東京大学医学部附属病院	24	138
18	聖マリアンナ医科大学病院	23	157
19	国立病院機構 西新潟中央病院	22	369
19	筑波大学附属病院	22	133

てんかん外科治療件数は国内随一であるが
必要な方にまだ充分ゆきわたっていないと考えている。



静岡市におけるてんかん診療体制の強化

難治性てんかんセンター + 包括的てんかん医療センター

- ・ 乳幼児からお年寄りまで
- ・ 小児科、脳神経内科、精神科、脳神経外科
- ・ 内科治療、免疫治療、食事療法、手術まで
- ・ 福祉制度、就学、就労、結婚、出産の相談
- ・ てんかんに詳しい多職種による取り組み
(リハビリ、療育、心理、ケースワーカー)

てんかんか否か
てんかん分類・発作型診断
てんかん焦点検索
長時間ビデオ脳波
原因・背景疾患の検索

静岡市静岡医師会とのてんかん診療連携

てんかん診療パスの作成



静岡市 てんかん診療連携

一般社団法人静岡市静岡医師会は、静岡市の医療機関情報、休日救急当番医など、健康にかかわる情報を発信しています。

文字の大きさ [小](#) [中](#) [大](#)

 [新規開業をお考えの方](#)

 [会員専用ページ](#)

一般社団法人
静岡市静岡医師会
Shizuoka City Shizuoka Medical Association

 [医療施設検索](#)

 [休日・夜間救急](#)

 [医師会健診センター MEDIOのご案内](#)



[医師会の紹介](#)

[住民健診・予防接種のご案内](#)

[感染症発生動向](#)

[災害対策](#)

[インターネット医療連携システム](#)

[ホーム](#) > [インターネット医療連携システム](#) > [疾患別連携システム](#) > [疾患別連携システム\(てんかん\)](#)



疾患別連携システム(てんかん)

インターネット

- ▶ [インターネットのあゆみ](#)
- ▶ [紹介と逆紹介](#)
- ▶ [病院と診療所](#)
- ▶ [疾患別連携システム](#)
- ▶ [認知症医療連携システム](#)

- ▶ [脳卒中連携システム](#)
- ▶ [慢性腎臓病（CKD）連携システム](#)
- ▶ [がん連携システム（S-NET）](#)
- ▶ [心房細動連携システム](#)
- ▶ [虚血性心疾患（IHD）連携システム](#)
- ▶ [大腿骨頸部骨折連携システム](#)
- ▶ [慢性頭痛連携システム](#)
- ▶ [前立腺がん連携システム](#)
- ▶ [てんかん医療連携システム](#)
- ▶ [潰瘍性大腸炎病診連携システム](#)

てんかん医療連携システム

1.連携システム発足までの経緯

チェックリスト

該当する項目をチェックして下さい(いくつでも可). 自由記載も可.

1. てんかんを疑う状況

下記症状が

- 急に始まり短時間持続 (一瞬 数秒~数十秒 分単位 時間単位以上)
- 初回 2回目 3回目以上 (回目)
- いつも同じパターンである

A. 運動症状

- けいれん (全身 体の一部 (部位 :)
- ビクつき (全身 体の一部 (部位 :)
- 不随意的動き (全身 体の一部 (部位 :)
- 転倒する
- 動作停止
- 不自然な発語・発声
- 不自然なふるまい:
- その他:

B. 意識の変化

- 呼びかけに反応なし・曖昧な返事
- 覚えていない
- もうろうとしている
- 意識消失
- 不自然な内容の発言:
- 不自然なふるまい:
- その他:

C. 唐突な自覚症状

- 不安, 恐怖感
- 嘔気, こみ上げる気持ち悪さ
- 変な匂い
- 光や物が見える, 遠くに (近くに) 見える, 小さく (大きく) 見える
- しびれる, 感覚が分からなくなる, 体の一部・半分が痛い
- その他:

気軽にご紹介ください!

2. てんかんの診療で悩む状況

A. 診断

- てんかんと診断すべきか
- 脳波所見の解釈
- てんかんの原因は何か
- どのような発作型か, どのようなてんかんなのか
- 認知症との鑑別
- 心因性非てんかん性との鑑別
- 失神との鑑別
- その他:

B. 治療

- 治療を開始すべきか
- 現在の治療は適切か
- 発作が抑制できない (年 1,2 回の発作頻度でも)
- 外科治療の可能性
- 治療に伴う副作用
- 薬を減量・中止できないか
- その他:

C. マネージメント

- 発作以外の症状で困る (精神症状, 知的機能, 発達行動面の問題, 認知症など)
- 妊娠に関すること
- 自動車運転に関すること
- 資格や就労に関すること
- その他:

(お願い)

失神 (心原性, 神経調節性) が強く疑われる場合は循環器科にもご紹介下さい.
脳炎や脳血管障害のような急性の背景病態が強く疑われる場合は総合病院にご紹介下さい.

当院からの情報提供書

〒420-0839

静岡県静岡市葵区御幸町3番1号

大石 達夫 先生御侍史

TEL 054-252-0585

医療機関名 独立行政法人 国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688

静岡県静岡市葵区漆山886

電話番号 054-245-5446

FAX 054-247-9781

てんかん科

印

患者氏名	年月日	昭和 14 年(1939) 2 月 2 日	性別	女
住所	静岡県静岡市葵区御幸町3-21-1403			
電話番号	TEL 054-253-6780			

紹介目的 ご報告

既往歴/家族歴/アレルギー

診断	てんかん 診断	焦点てんかんの疑い
	病因	脳出血
	発作の タイプ	不明
	併存・関連 する問題	
検査 所見	脳波	Czなどにsharp transientを認めますが、明らかなたんかん性放電はみられません。
	MRI	右側頭葉後部に出血痕。びまん性の萎縮と白質の高信号を認めますが、年齢相応とも思われます。
	血液検査	明らかな異常なし。
治療	治療方針	初発エピソードの性質は明確ではありませんが、てんかん発作であった可能性は否定できません。抗てんかん薬の継続が妥当(無難)のように考えます。イーケブラの用量については500mgくらいで継続が妥当と考えました。
	投薬内容	今回から イーケブラ錠 ≪250mg≫ 2T 分2朝・夕食後 90日分 で処方しました。
コメント	初発エピソード時、痙攣の目撃情報はありません。エピソード後の頭痛、筋肉痛、咬舌などはなかったようです。しかし、てんかん発作であった可能性は否定できないと考えました。眠気を訴えられますが、服用後ではなく、午後1時頃と言います。生理的な眠気もあるように思われました。てんかん発作との確証は得られておりませんが、薬は継続が無難のように思います。イーケブラ1000mgを500mgに減量いたしました。次回、当院へは約半年後の受診としましたが、その間てんかん発作を疑わせる症状がありましたら早めに当院への受診をお勧めください。	
次回受診	2024年3月15日(金)	

静岡てんかん記入欄



クリニックの先生方の記入欄



NHO 静岡てんかん ・神経医療センター		てんかん連携パス		かかりつけ医 診療所		GR1-ト*	
ID		患者名		医師名			
記載日	年 月 日	診療報告日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
発作 型	発作1	発作1 (発作回数 or およその頻度)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり []				
	発作2	発作2 (発作回数 or およその頻度)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり []				
副 作 用	1	副作用	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
	2		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
	3		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
	その他						
血 中 濃 度	<input type="checkbox"/> 要(ヶ月毎) <input type="checkbox"/> 不要 参考域	体重	Kg	Kg	Kg	Kg	Kg
	薬剤1 ()	薬剤1	μg/ml	μg/ml	μg/ml	μg/ml	μg/ml
	薬剤2 ()	血中濃度 薬剤2	μg/ml	μg/ml	μg/ml	μg/ml	μg/ml
	薬剤3 ()	薬剤3	μg/ml	μg/ml	μg/ml	μg/ml	μg/ml
備 考	服薬管理 処方	飲み忘れ	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 変更・中止 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(まれ・頻回)	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 変更・中止 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(まれ・頻回)	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 変更・中止 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(まれ・頻回)	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 変更・中止 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(まれ・頻回)	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 変更・中止 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(まれ・頻回)
	精神・心理・行動の問題		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
	日常生活面の問題		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
	腎機能 血液検査 肝機能 血算						
次 回 受 診	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 有事再診 年 月 日 (年後)	コメント					
			自院通院中の <input type="checkbox"/> 発作無し <input type="checkbox"/> 最終発作				年 月 日
医師署名	テスト医師①(デモ)	診察医署名					

静岡市静岡医師会とのてんかん医療連携システム

医師会から連携パスでご紹介いただいた件数

- 2021年度（1－3月）：3件
- 2022年度：9件
- 2023年度：8件
- 2024年度：9件
- 当院からの逆紹介も進めております。

医師、医院、病院 を対象にした活動

てんかんの 地域医療連携協力機関 登録証の発行

病病連携、病診連携が
2回以上円滑に行われた
医師、診療科、医院、病院
からの申請に基づき、
過去の連携内容を
確認の上で発行

全国で32件発行。
うち、県内は16件

登録第 001号

地域医療連携協力機関



登録証



〇〇〇〇 クリニック 殿

貴院を静岡てんかん・神経医療
センターの地域医療連携にかかる
協力医療機関であることを証しま
す。当センターは貴院と連携して
地域医療の推進に努めます。

登録日 令和×年×月〇日

独立行政法人国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

院長 高橋 幸利

医師、看護師、メディカルスタッフを対象にした活動

セミナー名	対象	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
漆山会てんかん学セミナー	医師	46	46	中止		×	×	44	×
てんかん看護セミナー	看護師	35	45			×	32	35	34
小児てんかん学セミナー	小児科医 等	40	36			×	19	25	予定
成人てんかん学セミナー	脳神経内科 医等	42	32			18	24	15	予定
てんかん小児専門職セミナー	保育士、教 諭等	43	47			×	40	38	39
てんかん成人専門職セミナー	指導/支援 員等	51	44			×	35	38	予定

令和5年度から多くのセミナーを再開しています。
WEB配信も始めました。

院内認定看護師

てんかん

A	4	病棟	2人
A	5	病棟	1人
A	6	病棟	2人
B	2	病棟	1人
C	1	病棟	1人
C	2	病棟	1人

重症心身障がい

B	2	病棟	1人
C	2	病棟	2人

神経難病

A	2	病棟	2人
---	---	----	----



・特別支援学校職員などを対象にてんかん発作への対応等に関する講演会

令和7年度

5/1 掛川特別支援学校 てんかん発作の対応と実演：27名

6/23 中央特別支援学校 てんかんの基礎講義：23名

8/1 吉田特別支援学校 てんかんの基礎講義、てんかん発作の対応と実演：40名

8/28 浜北特別支援学校 てんかんの基礎講義、てんかん発作の対応と実演：49名

令和6年度から県から周知いただいております。

人形とブコラムのサンプル を使って実演と体験



アンケートより

- ・ 練習用のブコラムを持ってきてくださり、実演を見たり、ダミーを使って体験することで実際のイメージを持つことが出来ました。
- ・ 落ち着いて冷静に対応することが大切だと改めて感じました。



教育関係者・一般市民 を対象にした啓発活動

・患者と家族対象の医療講演会 (+てんかん協会静岡県支部の相談会)

令和7年度

8/30 浜松アクトシティ：徳本医師

9/20 清水テルサ：大谷医師

10/25 沼津プラサヴェルデ：臼井医師

ここでもてんかん発作の介助の方法の実演を毎回行っています。

静岡県てんかん地域診療連携体制整備事業 市民公開講座

参加無料
先着40名
事前申込制

もっと知りたい!
てんかん

てんかんは100人に1人がかかるとされており、身近な病気です。
てんかんという病気をわかりやすくお話し、実演を通して介助方法を説明します。

2025年8月30日 土 13:30~15:00 (13:00開場)
会場：アクトシティ浜松コンgressセンター 21会議室 (JR浜松駅下車、北口より徒歩約10分)

講演

第1部 てんかん~正しい知識と対処法、前向きな視点~
静岡てんかん神経・医療センター 脳神経内科医師 徳本 健太郎

第2部 てんかん発作の対応について
静岡てんかん神経・医療センター 看護師 細川 亜紀/小島 早織

※講演終了後に個別相談会を予定しています。



参加申込 ●申込者は全員ご参加いただけます。ただし、定員オーバー等で参加できない場合は電話連絡いたします。
●先着順のため事前申込みが必要です。(静岡県外の方はご参加頂けません。)
●裏面の「市民公開講座受講申込書」の注意事項を必ずご確認の上、必要事項を記入し、
FAX(054-246-4640)または、メール(307-koukaikouza@mail.hosp.go.jp)にて、お申し込み下さい。

【お問い合わせ】受付窓口：静岡てんかん・神経医療センター 医事課 ☎054-245-5446
共催：静岡てんかん・神経医療センター(静岡県てんかん診療拠点機関) 公益社団法人日本てんかん協会静岡県支部

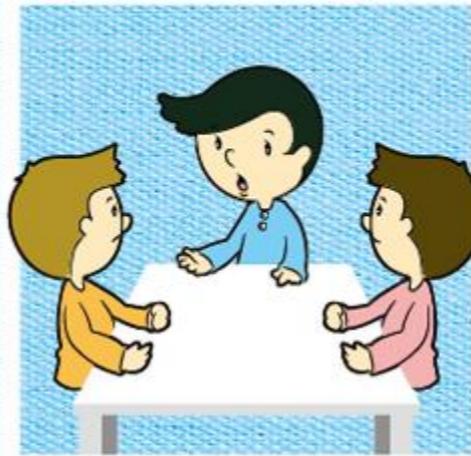
令和5年度から、県からも周知いただいています。

てんかんをもつ大人のためのてんかん学習プログラム



はじめに

MOSESプログラムでは少グループでのトレーニングを行います。プログラムは9つの重点テーマをもっています。



1 てんかんとともに生きる

病気は人を悲しくそして孤独にさせます。それは、病んでいる悩みをさらに深くします。次のことを学びましょう。



2 疫学

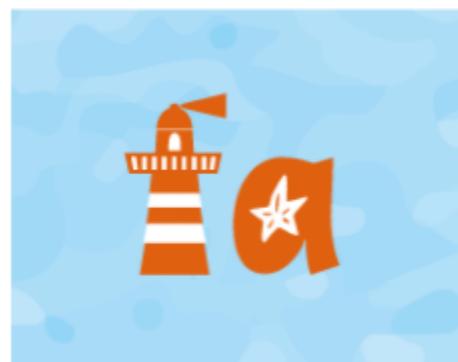
てんかんは決してまれな病気ではありません。このことについて考えてみましょう。



3 基礎知識

てんかんについての基本的なことを学びましょう。

てんかんをもつ子供のためのてんかん学習プログラム



はじめに

子どもコースは、てんかんという病気と出会い、向き合うことを伝える7つのテーマで成り立っています。そこでは、てんかんの知識を得るだけでなく、考え方や決まりごと、振る舞いについて話し合います。コースのプログラムは個別の学習能



港

〈出会いと旅立ち〉

子どもたちがてんかんのある仲間と出会い、てんかんをめぐる発見の旅に出かけます。お互いのてんかんの経験を話します。

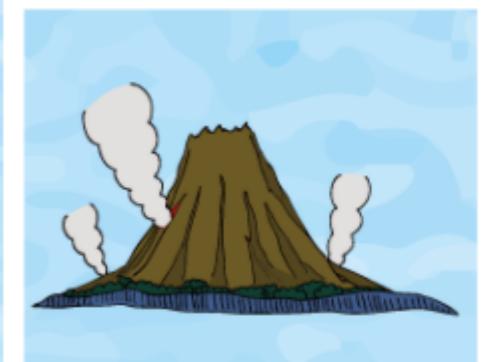
- 出会い



岩の島

〈君と君のてんかん〉

てんかんは頻度の高い疾患であること、てんかんゆえの制約があること、それらに結びついた感情を表現すること、そして困難な状況での解決の見つけ方を学びます。



火山の島

〈てんかんって何?〉

自分の病気であるてんかんについての知識を深めます。病気の原因や誘因、発作の際に脳に生じていること、さまざまな発作型があることを学びます。

一般市民 を対象にした活動

令和8年3月に
心のバリアフリーイベントにて
てんかんの啓発活動

三島スカイウォークにて
点灯式、てんかんの啓発活動

静岡てんかん・神経医療センター
内にて
てんかんの啓発活動

を予定しています。



Episode

静岡市が主催の「心のバリアフリーイベント」に出展しました。葵スクエア・青葉シンボルロードで開催されました。パープルデーのPRとして、てんかん病棟の患者さんと看護師と一緒に作成した「ストラップ」や「こま」をお配りしました。「パープルデーってなに？」と声を掛けてくださる方や、てんかんの方との関わり方や就職についての相談先、薬の副作用についての相談をいただきました。

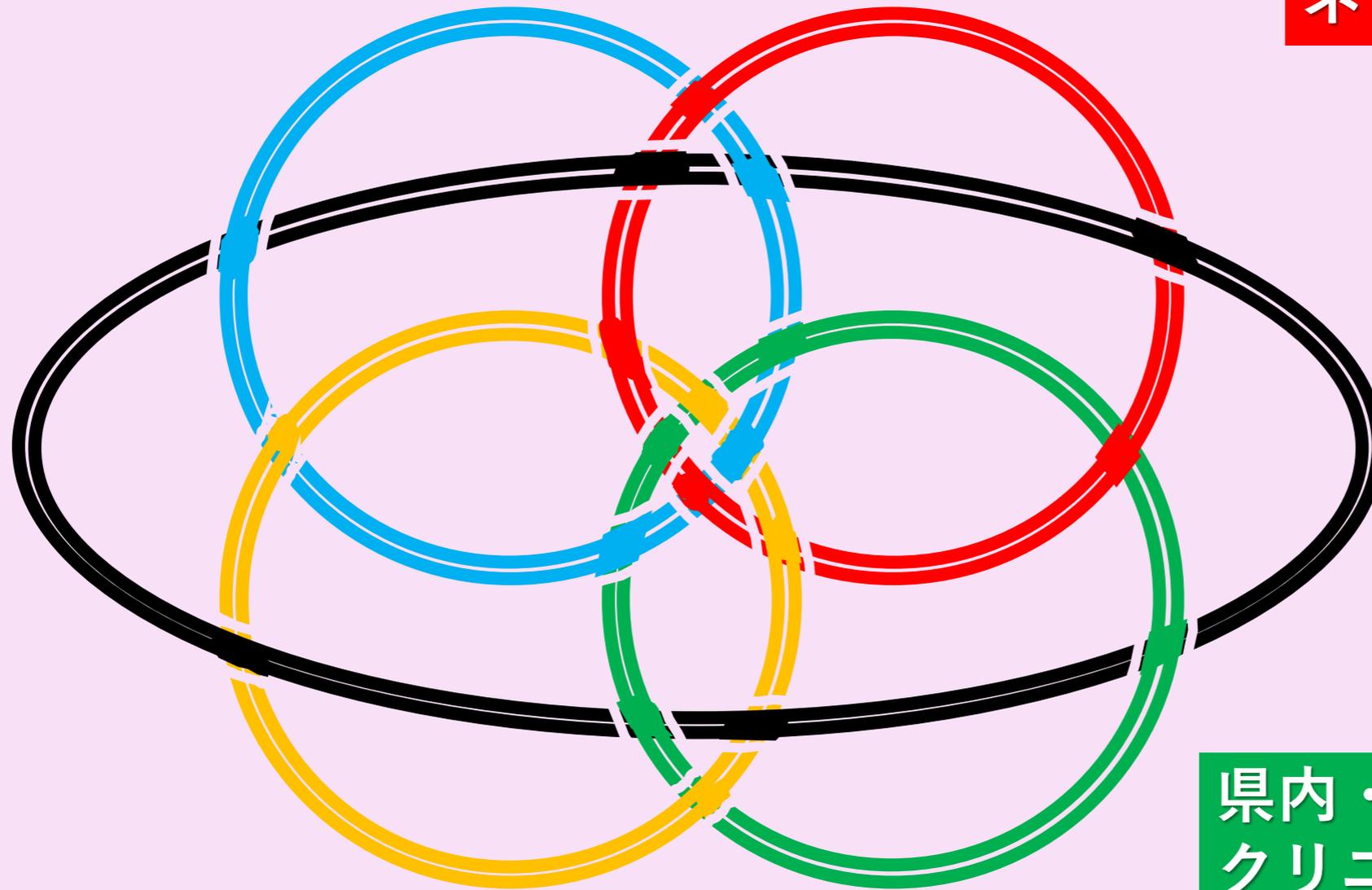
様子



連携が大切

国・静岡県・静岡市

学会・研究会・てんかん支援
ネットワーク



患者家族会
てんかん協会
ボランティア
専門職

NHO静岡てんかん・神経医療センター

県内・市内の
クリニック・病院
医師会

ここまでのまとめ

1. 当院は、県を越えた広域医療と、県域医療の両者を担っている。難治なてんかん患者は包括的医療を必要としており、今後も院内の治療体制の整備をおこなってゆく。
2. 初診患者の多くを小児と若年成人が占めていた。割合は少ないが高齢で受診される方もおり、高齢発症てんかんについても周知啓発が必要と思われる。
3. 初診患者の約半数弱が入院による精査あるいは加療を要した。
4. 初診患者の3割以上がてんかんでなかったことは医療連携および啓発の重要性を意味する。
5. てんかん外科治療についても、難治な患者さんへの治療選択肢として周知してゆく必要があると考える。
6. 院内外での教育・啓発活動にもさらに注力してゆきたい。

てんかん地域診療連携と 相談事業について

12月21日第2回全国てんかん対策連絡協議会
国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター
ソーシャルワーカー 橋本睦美

【てんかん地域診療連携】

- ・ 病院訪問

【相談事業】

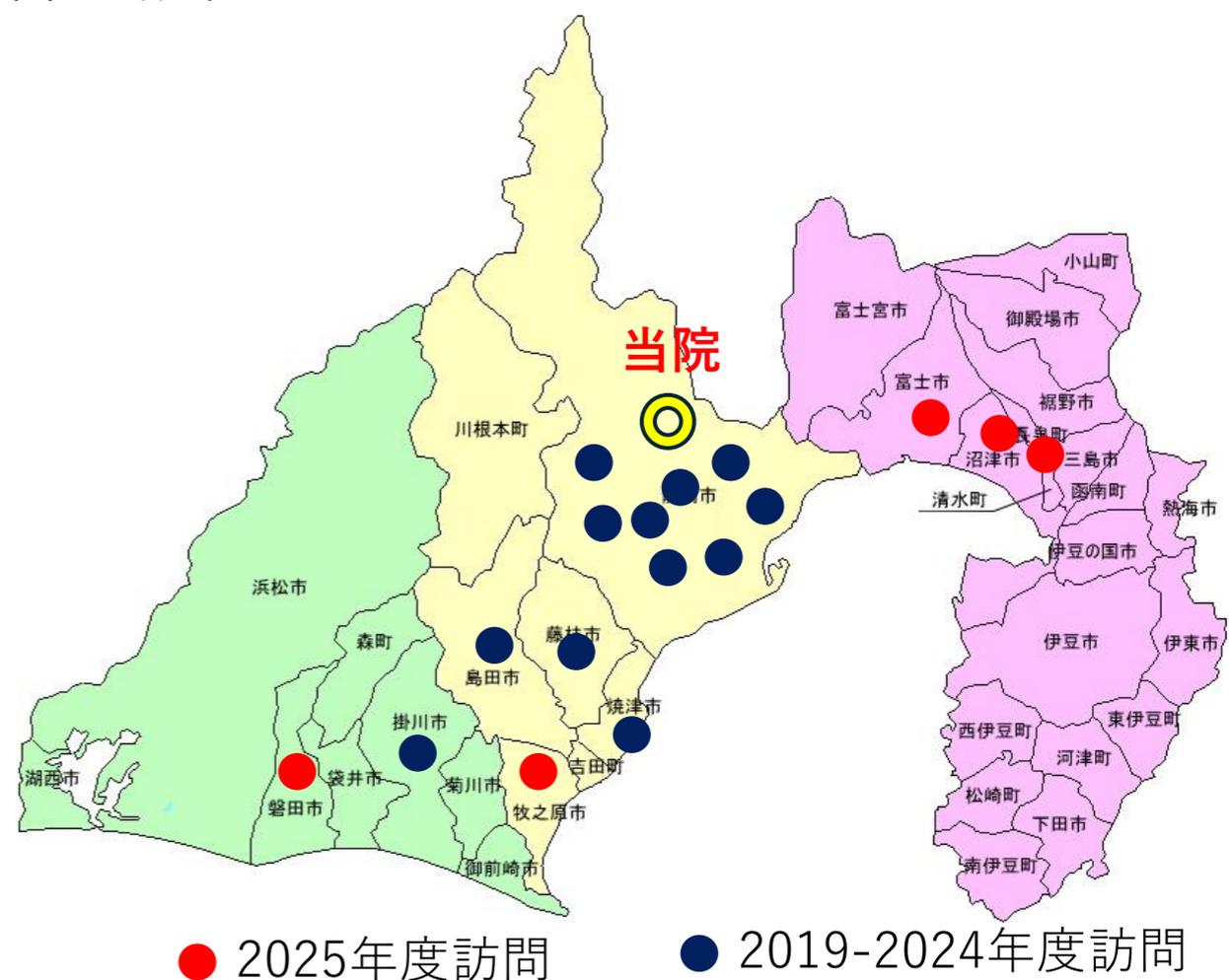
- ・ てんかんホットライン
- ・ 入院・外来患者の相談対応

【てんかん地域診療連携】 病院訪問

静岡県内のてんかん診療連携強化目的
医長以上の医師、看護師長、SW、事務官で訪問

2025年度

日時	施設名
6月3日	榛原総合病院
8月25日	静岡医療センター
10月9日	磐田市立総合病院
11月20日	富士市立総合病院
12月9日	沼津市立病院



【相談事業】

てんかんホットライン

てんかんのあるご本人・ご家族、一般の方、および医療関係の方から、てんかんの診療や支援に関するご相談を対応

※平成22年度に、東日本大震災が起きたことをきっかけに、震災支援のための「てんかん災害ホットライン」を設置

方法：専用電話、メール

2024年度

電話	メール
335件	104件

【相談事業】

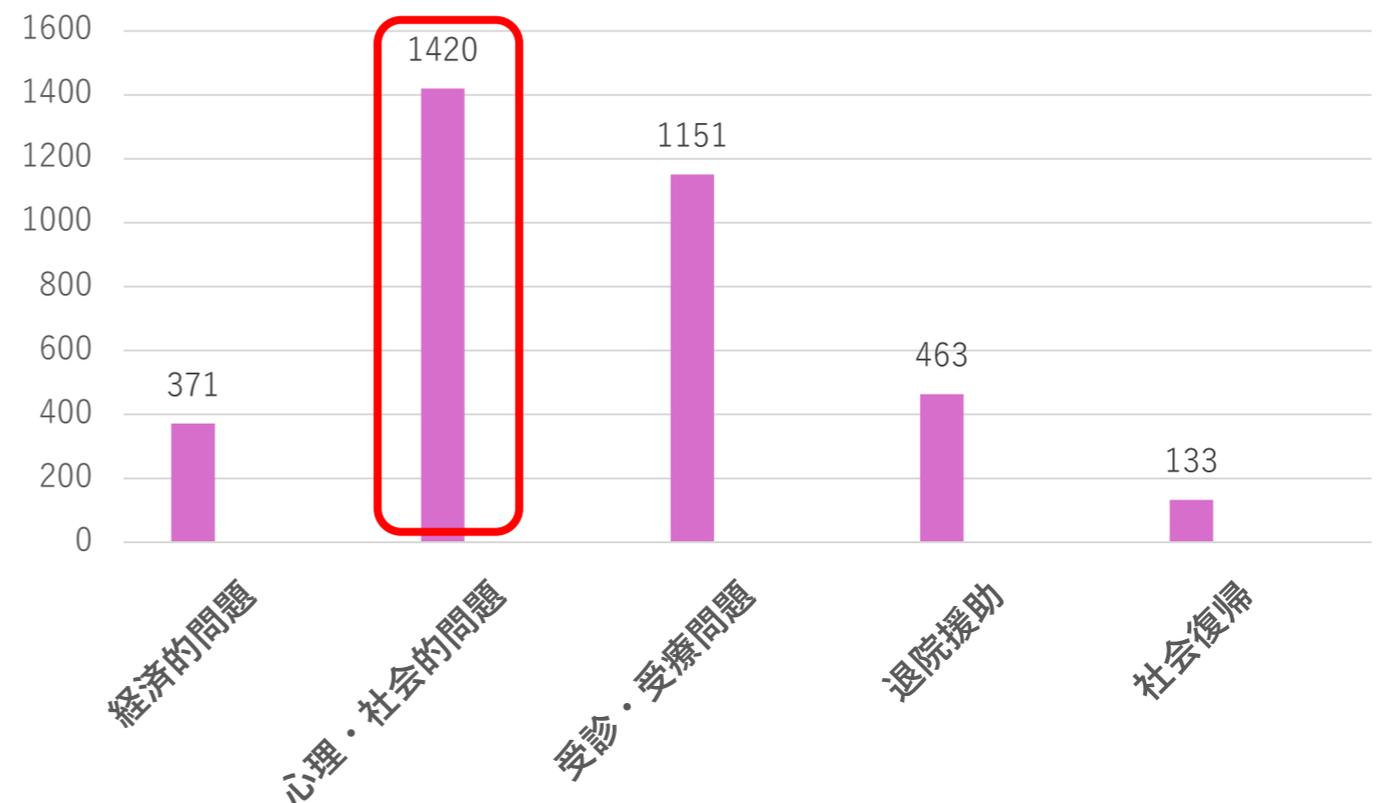
てんかん科入院・外来患者の相談対応

2024年度

※延べ件数

外来	入院
1983件	1382件

相談内容※延べ件数



てんかん科 心理社会的問題

【乳幼児～就学前】

療育やリハビリテーション、就学の相談

【学齢期】

教育環境の選択、進学相談

将来の職業選択・資格取得の相談

【青年期】

就職や仕事の維持についての相談

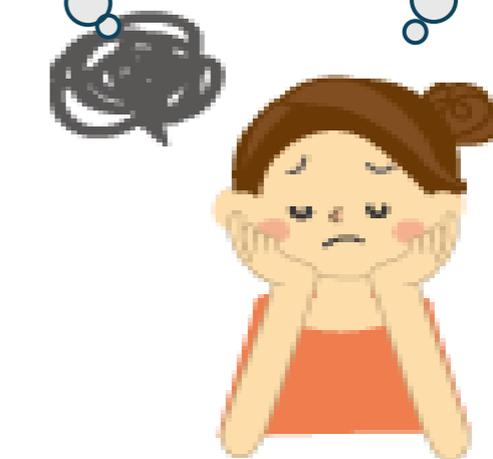
結婚・出産や育児の相談

施設入所・在宅でのケアサービスの相談

車の運転免許など資格の相談

どこに相談していいのかわからない

他の患者さんや家族はどうしているの？



社会的孤立・心理的葛藤

まとめ

- 静岡県によりよいてんかん地域診療体制構築のため、今後も病院訪問を進めていきます。
- 医療機関には治療だけではなく、てんかんの患者さんの生活課題の解決のお手伝いができる社会資源があります。困ったときに相談に繋がる院内システムの構築、又他施設のてんかんセンターSWと助け合えるネットワークの構築を目指します。